

TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和4年10月13日
我孫子市小中一貫教育だより
第256号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-English の共有授業実践の様子を紹介するうな～!

Abi-English “Which do you like better A or B?”

9月26日に湖北中学校の第2学年で教科担任とALTによるTeam Teachingで授業が行われました。Today's Goalは“Which do you like better A or B?”と設定され、All Englishに近い形で授業が展開されました。

ALTとのあいさつやsmall talkの後、復習も兼ねてALTが“What's your favorite dessert?”と全体に質問を投げかけました。生徒の多くが内容を理解しており、“I like ice cream.”などパッと答えることができていました。その後、前後左右の友達と順に質問をし合い、お互いの答えにおもわず笑顔になる様子が見られました。

続いて、今日のテーマである“Which do you like better A or B?”という表現を用いて『オリジナルアンケートを作ろう』ということで、ペアになった人が自分の選んだもののうち、どちらが好きなのかを尋ねる活動を行いました。デザートや教科など様々なジャンルから2択のアンケートを作り、周りの人に聞くという活動です。教科担任とALTがデモンストレーションを見せ、やり方を説明したこともあり、生徒たちは活動に抵抗なく、すんなりと取り掛かりました。ペアの友達の様子をうかがいながら質問をし合う姿から英語の授業を楽しみ、しっかりと学ぼうとする姿勢が見られました。

生徒たちは、たくさんの言語活動を通して、重要なことをしっかりと身に付けていました。



Abi-English「他の人について尋ねたり答えたりしよう」

9月27日に湖北中学校の第1学年で、我孫子の先人たちを題材にした学習が、教科担任とALTによるTeam Teachingで行われました。

まず、ALTによる挨拶から始まり、全体でTVを視聴しながらAbi-Phonicsによる発音練習を行いました。

次に、今日の学習の目標が提示され、教科担任と我孫子の先人5人(嘉納治五郎他)を使って“Does he like ~?”の疑問文と“Yes, he does.” “No, he doesn't. He likes ~.”の練習をしました。

続いて、ペアでアクティビティを行いました。ゲーム感覚で進められる工夫されたプリントが用意され、ALTが具体例を挙げながら内容を説明しました。その後、ペアを5回替えてアクティビティを実施、生徒は楽しそうに夢中になって取り組んでいました。

最後に、任意のペアが指名されて全体の前で発表しました。緊張気味でしたが、身振り手振りをまじえてしっかりと発表できていました。教科担任とALTの連携と役割分担によって生徒たちは楽しく充実した学びができていました。



Abi-phonicsは、アルファベットの並びから、読み方がわかるようになるための我孫子市オリジナルの発音練習うな。積み重ねていくことで、英語が読みやすくなるうな。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和4年10月13日
我孫子市小中一貫教育だより
第257号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-ICT の共有授業実践と教育ミニ集会を紹介するうな！

Abi-ICT 算数「計算のきまり」

9月27日に新木学校の第4学年で算数の単元「計算のきまり」でICTを活用した学習が行われました。学習の目標は●(ドット)図を利用して数の求め方を図や式に表したり、説明したりできることです。これを、コラボノートを活用して効果的に授業を実施するといった提案です。

始めに●が規則正しく並んだ図をTV画面に一瞬だけ映し出されると、子どもたちは、これまでに学習した計算のきまりを生かして簡単に答えることができました。しかし、続いて不規則にたくさん並んだ●の数を問われると、すぐには答えられません。そこで、「●の数を工夫して求めるには、どうしたらよいのだろうか？」という学習問題を導き出しました。

解決するための手立てとして、コラボノートを活用します。画面上に提示した●が不規則に並んでいる図を線で囲むなど工夫して、式に表すことで数を求めます。子どもたちは何通りもの方法を考え、コラボノートに書きこんでいきました。(複数の考えを示せるように、ワークシートも一人複数用意されていました。)途中で躓いたら、友達ワークシートを見て参考にすることができ、担任は、画面を見ながら机を回って学習支援を行います。

まとめとして、代表者が前に出て発表し、全体で共有しながらそれぞれのやり方に共通している点を考え、式に表せることを確認しました。

終わりにコラボノートで適用問題と本時の振り返りを行いました。が、児童たちはタブレット端末を使いこなしながら集中して学習し、学んだことの定着率も高かったように感じました。



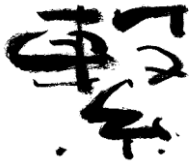
三校合同教育ミニ集会

同日、新木小学校で、湖北小、新木小、湖北中3校合同で教育ミニ集会が行われました。今回集まったのは、各学校の学校運営協議会委員です。集会の前に上記の授業を参観し、その後、「ICTを活用して、どのようなことができるのか」をテーマとした協議が行われました。

まずは提案として、新木小学校からICTを活用した、地域学校協働活動ボランティアの運営(システム化)について説明がありました。その後、グループに分かれて、各学校の実情や今後、どのようなことができるかについて話し合いました。

各グループからは、ボランティアの方向性や役割などを明確にしていくことや、子どもたち自身も参加できる仕組みづくり、ボランティア募集の裾野を学校単位から中学校区単位へと広げ、そのためのツール(ICTの活用、手紙の配付、自治会の回覧板等)を検討することなどの提案がありました。一方、情報発信や直接児童生徒と関わる上でのセキュリティ面については慎重に検討する必要があることなども話題になりました。このほか、児童生徒のICT活用についても話し合いが行われ、中学校区で利用の仕方や活用状況に差がある現状が見え、今後の課題となったようです。





T S U N A G U

- **小から中への滑らかな接続に向けて** -

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和4年10月14日
我孫子市小中一貫教育だより
第258号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-ICT の共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ICT 理科「物質の質量と体積の変化」

9月27日に湖北中学校の第1学年で理科の単元「物質の質量と体積の変化」で、ICTを活用した学習が行われました。本時は、単元の2時間目で、グループでの実験・観察を中心に、ノートは使用せずにタブレットを使用して記録を行いました。

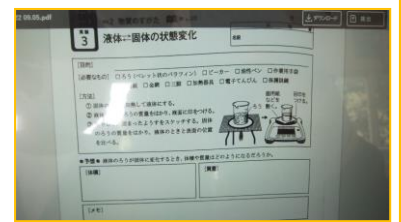


学習内容に応じて、どの場面で、どんな目的でICTを活用するかが明確になることにより、生徒の基本的な操作技能の向上はもちろん、活用技能の向上にもつながっていきます。

まず、ワークシートがPDFで各自の端末に配付されました。学習課題を確認後、グループごとに実験を開始します。4人がそれぞれ分担して進行し、カメラ係となった生徒は、端末を利用して写真や動画での記録をしました。

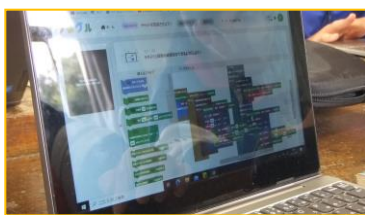
実験終了後、それぞれが実験結果等を端末でまとめます。使用したSkyMenu-Cloudで、カメラ係が撮影した写真などを共有して、自分のデジタルノートに挿入するなど、各自工夫してまとめていました。教科担任も、端末や大型モニタで生徒のノート作成状況を確認しました。

最後の学習のまとめでは、重要な点について、抽出した生徒のノートを大型モニタで拡大表示して全体で共有しました。



Abi-ICT「文字や画像を送受信できるチャットを完成させよう」

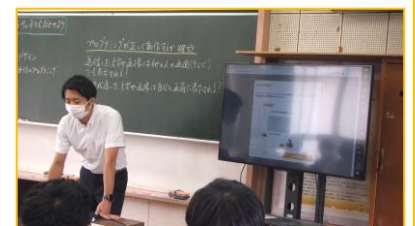
9月29日に我孫子中学校の第2学年で、技術科の単元「情報に関する技術」で、文字や画像を送受信するチャットをデザインする、プログラミングの学習が行われました。

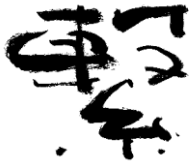


適切にプログラムするためには、プログラミング的思考、つまり適切な方法（工程）で問題を解決する論理的思考力を育むことが大切です。

生徒たちは、前時で学んだプログラミングの基本機能等を活かし、本時の2時間で完成させます。事前に無料プログラミングWebサイト「プログル」に登録しておき、各自ログインして学習スタートです。

今回の学習では、「送信」「受信」「テキスト」「画像」「カスタマイズ」と5種類のプログラムの完成が必要となります。小学校でプログラミングを経験している生徒たちは、スムーズに進めることができていましたが、複数の組み合わせに苦戦する生徒の姿も。教科担任からのアドバイスシートを参考にしたり、友達と協力したりしながら、完成させることができました。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和4年10月14日

我孫子市小中一貫教育だより

第259号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-Englishの共有授業実践の様子を紹介するうな～!

Abi-English「相手と自分の名前を英語で言おう」

9月28日に並木小学校の第1学年で初めての外国語活動が行われました。子どもたちは、ALTが英語で話し始めると、「え?今なんて言ったの?」とそわそわして落ち着かない様子。しかし、ALTが挨拶や、“I’m ○○(名前).”の表現を繰り返すと、子どもたちは自然と真似をして、すぐに自分の名前を英語で言えるようになりました。また、ALTの自己紹介で、出身地について大型モニターで写真や地図を使って英語で説明されると、興味津々で話に聞き入っていました。



Today’s Goalは、「あいてとじぶんのなまえをえいごでいおう」とし、まずは、挨拶の英語表現を学習しました。続いて、アクティビティとして名刺交換をしました。名刺は自分で作ったお気に入りの3枚です。Today’s key pointとして、“Hello” “I’m ○○(名前).” “Thank you.” “Good-bye.”の表現でやりとりをしながら、名刺を交換しました。友達の名刺をもらって嬉しそうにしている子どもたちの姿が印象的でした。



最後に、今日学習した英語の挨拶の歌を、動画を見ながら歌いました。すっかり英語に親しんで、大きな声で歌うことができました。

振り返りカードには、「英語の読み方や話し方が分かった」「もっとみんなで英語を話したい」「英語を頑張りたい」という感想が書かれ、この1時間、外国語活動を楽しんだことが伝わってきました。

Abi-English「身近な人を紹介する文を書こう」

9月30日に湖北台西小学校の第5学年で、「身近な人を紹介する文を書こう」をテーマに外国語の学習が行われました。

まずは、Abi-phonicsの発音練習からスタートし、担任やALTが発音するアルファベットの聞き取り練習、デジタルコンテンツを使ったアクセントの練習などを、テンポよく進めました。

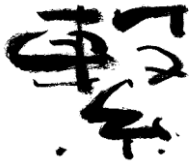


続いて、これまでに学習した「Can you~?」の表現の復習です。いくつかの動作を表す英語表現を絵カードで確認すると、続いて質問のやりとりについても確認します。ALTと担任のデモンストレーションを見てから、実際に3人にインタビューをしました。子どもたちは積極的に友達にインタビューし、また参観していた先生方へのインタビューにも挑戦していました。

いよいよ、Today’s Goalに向けての学習です。まずは、ALTと担任とのSmall Talkで、担任が身近な人の兄弟について紹介する話を聞きました。話の構成は「紹介する人の名前」「本人との関係(家族・友達等)」「紹介する人ができること」の3つです。必要な表現についてカードや教科書等で確認していきます。最後は、自分の紹介したい人について英語で書く活動となりました。



本時は、ここまでとなりましたが、子どもたちがこれまでのAbi-Englishで培ってきた力がいたるところで発揮され、主体的に学習する姿がとても素晴らしかったです。



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和4年10月25日

我孫子市小中一貫教育だより
第260号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-English の共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-English「〇〇（文房具）を持っていますか？」

9月30日に湖北小学校の第4学年で、Do you have a ~? Yes, I do. No, I don't. の表現を用いた担任とALTによる外国語活動が行われました。

まずは、ALTと児童で挨拶や日にち、天気の確認などを行い、和やかな雰囲気の中で授業がスタート。続いて、担任とALTで本時のねらいに沿った会話をすると、その意味について児童に尋ねました。担任とALTのやりとりがわかりやすく、子どもたちは概ね意味を掴んでいたようです。

続いて、Today's GoalがTV画面に映し出され、「文房具を持っているかどうかの聞き方を覚えよう！」とテーマが示されました。大型モニターで“Do you have a ~?” “Yes, I do.” “No, I don't.” の表現について、動画を見ながらリズムに乗って練習します。最初は英文字幕を見ながら、続いて英文字幕を消してと楽しく練習していました。

次に、Activityです。初めに担任とALTの見本を見て、活動の方法について自分で説明できるか確認します。仲間同士でジャンケンをして勝った者が質問、負けた者が答え、答える方がそのカードを持っていたら質問者に1ポイントというルールです。担任とALTも子どもたちの輪に入り、楽しそうに3回のActivityを終えました。

1時間を通して、最後まで児童たちは笑顔を絶やさずに生き生きと活動し、有意義な学びの時間を過ごしたことが伝わってきました。



Abi-English「道案内の表現を使って地図を完成させよう！」

9月30日に新木小学校の第5学年の外国語の学習で、道案内の表現についての教科担任とALTによる授業が行われました。

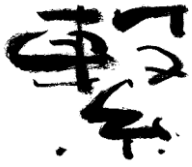
最初に大型モニターに移した地図をもとに、前時の復習である目的地までの道案内の仕方を確認、練習しました。続いて、道を尋ねる際に用いる“Excuse me.”という表現を動画(Song)に合わせて、元気な声で歌いながら練習しました。

次に、大型モニターと黒板にToday's Goal「道案内の表現を使って地図を完成させよう！」が提示され、全員で確認。専科教員とALTの会話のデモンストレーションを真似して練習すると同時に、使用する単語(建物)の発音練習を行いました。

続いてActivityを進めるにあたって、再度専科教員とALTのデモンストレーションを見て、ルールと方法について確認し、役割分担を行いました。まず班を作り、班独自の建物を決めて地図に記載します。次に、班の中で2名は他班に質問に行き、他班の建物の位置を聞き出して地図に記載。残った児童は他班からの質問に自分の班の建物の位置を教えます。いつもより手順が多く、難しいActivityですが、子どもたちはしっかり理解できたようです。質問者と質問を受ける役割を交換しながら楽しそうに活動しました。

終わりに、振り返りをすると同時に、完成した地図を大型モニターに映して自分が作成した地図と見比べました。地図を完成させて喜んでいる子どもたちの様子から、目標を達成し、充実した学びの時間となったことが伝わってきました。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和4年10月25日

我孫子市小中一貫教育だより

第261号



我孫子市マスコットキャラクター「手賀沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター「ふさだ だしお」

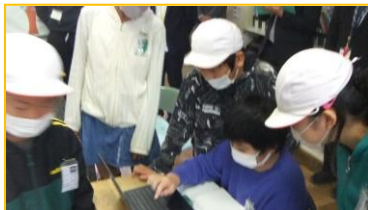
Abi-ICT と Abi-English の共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ICT 算数「公倍数のしくみ」

10月7日に湖北台東小学校の第5学年で算数の単元「公倍数のしくみ」で、ICTを活用した学習が行われました。本時では、学習課題を「公倍数にはどのようなきまりがあるのだろうか」として、30までの3と5の倍数から、公倍数のしくみについてプログラミング操作を取り入れながら学習します。



子ども達は、前時までには3と5の倍数について「プログル」(Web提供型プログラミング学習サイト)で学習し、「公倍数」という用語やその大まかな定義について理解しています。本時では、この前時までの学習をもとに、3と5の公倍数についてのプログラミングを行いました。今回の学習は、公倍数の意味理解の促進という視点から、プログラミングの条件分岐の概念をもとに課題解決をするという提案授業です。



算数の学習にプログラミングの学習を組み合わせるという新しい取組でしたが、子どもたちは、お互いにアドバイスをし合いながら課題解決に向かって取り組むことができました。

先生の話を聞くときは、PCは先生に向けて集中

算数における「公倍数」の定義を、プログラミング操作をとおして理解することは、算数のみならず、プログラミング的思考の1つである「条件分岐」の理解にもつながるため、とても有効であると考えられます。また、学習過程でのトライ&エラーのスタイルの定着化にもつながります。



Abi-English「場面や内容に応じて使い分けよう」

10月7日に我孫子中学校の第1学年で、教科担任とALTによるbe動詞と一般動詞、一般動詞の三人称単数現在形sやesについての学習が行われました。



最初に生徒が前に出て挨拶と日付や天候の確認を英語で行います。生徒たちの元気の良い声が教室中に響いていました。

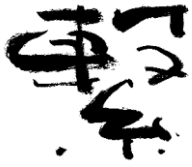
続いて、2人組を作り前時の復習としてbe動詞と一般動詞の違いについてペアで説明をさせた後、大型モニターに要点を映し出して全体で確認、その際に三単現のsやesについても確認するとともに、リズムに乗って単語を復唱しながら確認しました。

次にカードを使ったActivityに入ります。まずは、活動で使用する語句を大型モニターに映し出してALTが発音し、全体でもそれに倣って練習します。続いて、Activityの方法について教科担任とALTでデモンストレーションを行い、カードを配付して2人組のActivityを実施しました。



最後に本時の学習内容をプリントと大型モニターで確認しました。本時の学習をもとに「身近な人を紹介しよう」と次の課題が提示され、作文する時間を少しとったところで終了となりました。

生徒たちは、小学校で活動をとおして慣れ親しんできた表現について、中学校では場面や内容に応じて整理し、文法的な視点を取り入れて学んでいきます。



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和4年10月31日

我孫子市小中一貫教育だより

第262号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-ICT と Abi-English の共有授業実践の様子を紹介するうな～！

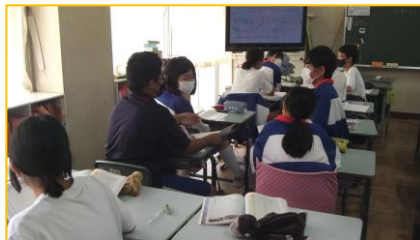
Abi-ICT 道徳「グループ」

10月11日に我孫子中学校の第1学年の道徳で、公平、公正、社会正義に関する学習が行われました。

授業では、教科書に掲載されている「グループ」という教材をもとに学習をしました。主人公は、部活の1年生全員の SNS グループと、リーダーだけ抜いた SNS グループに入っています。リーダーを抜いたグループでリーダーへのみんなの悪口に同意する書き込みをしてしまいます。後でその画面をリーダーが見ることになり、リーダーとも、周りの子ども関係が悪化してしまうという内容です。

Abi-ICT で取り組んでいる情報モラル教育の観点からは、チャットや SNS などの対面ではないコミュニケーションで起こるトラブルの背景をとらえ、トラブルを回避するためのルールや

マナーを守る大切さを学ぶことが必要となります。また、こうしたツールを介したやり取りは、友人間だけでなく様々な学習の場面でも必要となっています。特別の教科道徳だけでなく、教育活動全体をとおして、日常モラルの指導に加え、情報社会の特性を理解し、生徒一人ひとりが適切にツールを活用できるよう、系統的に指導していきます。



Abi-English 「道案内をしよう」

10月11日に布佐中学校の第1学年で、「道案内をしよう」をテーマとした教科担任と ALT による授業が行われました。

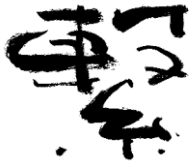
最初に教科担任が本時の目標の確認と授業の内容について英語で説明をすると、本単元2時間目の生徒たちはしっかりと理解できている様子でした。続いて、大型モニターに地域のショッピングセンターの店舗をモデルにした図が提示されます。教科担任と ALT による館内の映画館までの道順を教えるデモンストレーションを見てから、道案内の表現について ALT に続き発音して復習します。

次に、大型モニターに「Unario」という架空の建物の店舗が映し出されました。その中にある店や道案内の表現について確認してから、モニターの図を見ながら教科担任と ALT の道案内のデモンストレーションを聞きました。

いよいよ Activity です。生徒でペアを作って、お互いに Information の案内人とお客になりきって Communication を実践します。途中、教科担任や ALT から注意点が伝えられると、活動を止めて、集中して確認をしていました。

最後に指名を受けたペアが前に出て全体の前で発表を行い、ALT から全体への評価と今後伸ばしてほしい点を話して授業は終了となりました。1時間を通して、ほぼ All English で授業が展開されましたが、生徒たちはその指示をよく理解して楽しそうに活動でき、小学校からの積み重ねによる成長を実感できた授業でした。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和4年10月31日

我孫子市小中一貫教育だより
第263号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-ICTの共有授業実践の様子を紹介するうな～!

Abi-ICT 道徳「コラボノートに『じぶんのすきなこと』をかこう」

10月12日に我孫子第三小学校の第1学年の道徳で、情報モラルについての学習が行われました。タブレット等を活用したSNS上でも約束やきまりを守り、自分や友達の作ったものを大切にする心をもつことを目標にした学習です。

「コラボノートEXに『じぶんのすきなこと』をかこう。」ということで、タブレットを手に、やる気いっぱいの1年生。「好きなことは何？」の問いかけに「サッカー」「てつぼう」「ゲーム」「おえかき」…と元気に答え、それぞれ好きなことを入力していきます。子どもたちは、互いに教えあったり、先生に教えてもらったりしながらコメント

を出席番号の枠にはめるところまでチャレンジ!みんなが入力した画面が映し出されると、嬉しそうに順番にコメントの内容を発表しました。

みんなの発表後、先生がいきなり「おなら」と入力して友達のコメントの上に貼ってしまいました。「これどうかな?」と聞くと「悲しい。」「誰がやったの?」って思

う。」「貼られた子のコメントだと思われちゃう。」「傷つく。」との声。名前を書いていないからといってやってはいけないこと、自分が書いたものには責任を持つこと、人の邪魔をするのは人の書いたものを大切にしないことになる、いい気持ちをする人はいないことなどを確認しました。



Abi-ICT「SNSにおける情報発信でのリスクと責任」

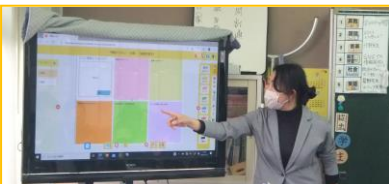
10月12日に布佐南小学校の第6学年で、「SNSにおける情報発信でのリスクと責任」をテーマとした学習が行われました。

まず、SNS上の問題点の現状が紹介され、続いて情報発信でのトラブル発生例の動画を視聴しました。内容は、特定の店のケーキについて「おいしい」「おいしくない」というコメントをすることで売り上げに影響を与えてしまったり、正

誤の確認をしないままネットの情報を信じてさらに拡散してしまったりするということです。このことについて、子どもたちは自分の考えをワークシートに記入し、コラボノートEXで意見を発信しました。

全体で意見の動向を確認し、情報発信について考えるべき視点を増やして視野を広げます。その後グループでお互いの考えを聞き合い、グループの代表生徒がその内容を発表して全体で共有しました。

最後に、情報発信にはリスクと責任が伴うこと、発信する前によく考えることが必要であることを確認しました。



Abi-ICTでは、発達段階に応じて、子どもたちの身近に起こりうることを題材にして、系統的に情報モラルの学習を行っているうな～。





T S U N A G U

- **小から中への滑らかな接続において** -

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和4年10月31日

我孫子市小中一貫教育だより

第264号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-ICT の共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ICT 総合「ローマ字を使って、廊下のポスターを作ろう」

10月14日に我孫子第二小学校の第3学年で、ローマ字入力によるタイピング操作に慣れ親しむ学習が行われました。

ローマ字入力については、国語のローマ字の学習と合わせて学習してきており、授業の最初はその復習として、キーボード配列のローマ字表や Web サイトでローマ字入力の練習をしました。Web サイトの活用にあたっては、児童がすぐにアクセスできるように、Teams にショートカットを用意してありました。



続いて、本時の課題です。子どもたちが、先日校外学習で訪れた航空科学博物館やさくらの山公園について振り返り、学んできたことを発信することがねらいです。今回の学習では、その方法としてローマ字入力でポスターを作り廊下にポスターを掲示することをゴールとしました。ポスター作りには、事前に担任が準備していた校外学習に関する画像を Sky Menu Cloud 上に用意しておき、児童は自分が伝えたい情報にあわせて画像を選び、Sky Menu Cloud を

活用して画像入りのポスターを作ります。活動には ICT 教育支援員や教務主任も支援に入り、それぞれ集中して取り組んでいました。最後に、何人かの作品の途中経過を紹介し、次時へのイメージを膨らませて終了となりました。

子どもたちは、教科を横断して自分たちが学んできたこと、伝えたいことを発信しようと意欲的に取り組んでいました。



Abi-ICT 技術「プログラミングの基礎」

10月20日に湖北中学校の第3学年で、技術科の単元「プログラミングの基礎」において情報処理の手順とプログラム、プログラムによる制御についての学習が行われました。

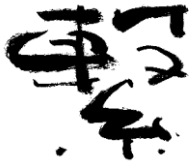
本時のゴールは、フローチャートと Scratch により画面上の車をルートに沿ってゴールまで到達させることです。Teams に、事前にフローチャートと Scratch のデータを共有化しておきます。

まず、教科担任と本時の課題を確認します。続いて、ICT 教育支援員も学習支援に入りながら、それぞれ演習を開始。課題を達成するためのヒントが事前に Scratch 上に用意されています。ブロック操作になれていない生徒もいるので、ICT 教育支援員や友達からアドバイスを受けながら、それぞれ進めていくことができました。演習1が完成したら、演習2へと進めていきます。最後に、出来上がったプログラムを発表して、今日の学習は終了となりました。



ICT 教育支援員の役割として、授業中の学習支援はもちろん、単元計画や授業計画の支援、ICT ツールの準備などもあります。教科担任と ICT 教育支援員との連携によってとても充実した授業となりました。こうした単元計画や授業計画、また使用する ICT ツールについて、ぜひ学校間で共有していけるとよいと思っています。





TSUNAGU

小から中への滑らかな接続に向けて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和4年11月4日

我孫子市小中一貫教育だより

第265号



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-ICT・Abi-English の共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-ICT 総合「我孫子市のフードロス減らそう！」

10月11日に根戸小学校の第3学年の総合的な学習の時間で、「我孫子市のフードロス減らそう！」のまとめとして、コラボノート EX を活用して3人組の班で新聞を作成する学習を行いました。



授業開始前にコラボノート EX の準備を整えてから授業スタートです。最初に、「フードロスについて知らせよう」という新聞作成のねらいを確認すると、本時の目標「新聞に載せる内容とレイアウトを決めよう！」が示され、学級全員で共有しました。



続いて新聞作成までの手順を丁寧に確認し、早速コラボノート EX での作業に取りかかります。コラボノート EX は同じグループの仲間の意見が見えるように設定されており、子どもたちは活発に意見を言い合いながら内容とレイアウトに工夫を凝らして、徐々に新聞の形に仕上げていきます。

途中で、担任が新聞に取り上げた内容が本時のねらいに沿っている班やレイアウトが優れている班のコラボノートを大型モニターに映すと、その班の児童がそのようにした理由を発表しました。すると、それを参考に、その後の班の話し合いがさらに活発、質の高いものとなり、教室中に熱気が溢れていました。

次にもう1時間作業して新聞は完成に向かいますが、本時の授業だけを見ても学習のねらいに沿って ICT をうまく活用し、児童が成長していることを実感できた1時間でした。



Abi-English「何がどこに住んでいるか伝えられるようになる」

10月21日に我孫子第二小学校の第6学年で、「色々な動物とその動物の住んでいる場所を伝えられるようになる」という目標で学習が行われました。

英語での挨拶から始まり、日付等を問いながらそのスペル確認してスタート。続いて Abi-Phoenix とデジタル教科書を使ってアルファベットや単語の確認と発音練習を行います。

次に、Today's goalを確認し、まずは ALT が本時で用いる色々な動物や場所の表現を、ピクチャーカードを使って発音しながら確認します。さらに、動物と場所を組み合わせ、「lions savanna」のようなセットを作ると、足りない語は何かを考えて「live」を導き出します。そこで Today's lesson.として「Lions live in the savanna.」という表現について、単語を組み替えて何度も練習しました。



その際に、複数形 s の存在や不規則変化する単語についても確認しました。それから、Activity として Pair practice.(2人ペアの練習)で tic-tac-toe ゲームを行いました。子どもたちはとても楽しそうに発音しながら活動していました。

最後にまとめとして、各自のノートに「○○は～に住んでいる」という英作文を3文書き、授業の振り返りを記入しました。その内容からは本時のねらいがしっかりと達成されていることが確認できました。

